

ジュニア科学クラブ 4

★★

金環日食を見よう

皆さんは金環日食きんかんにっしょくって知っていますか。これは、太陽の真ん中の部分がなくなって、まるで指輪のような形になってしまう現象です。5月21日、ここ大阪やその周辺でも金環日食を見ることができのです。金環日食はとても珍しい現象で、大阪で見られるのは、何と282年ぶりのことです。



どうして太陽がこんな形になってしまうのでしょうか。これは実は月が三日月や半月、満月と満ち欠けすることと関係しているのです。日食の起こる仕組みについて考えてみましょう。

また、この金環日食を見るためには、どうしたらいいのでしょうか。太陽はまぶしいので、たとえ金環の状態のときでも直接見ることはできません。そこで、日食の観察方法についてもお話ししましょう。

えごし わたる(科学館学芸員)

<4月のクラブ>

4月28日(土)9:45 ~ 11:30ころ

- ◆集 合：プラネタリウムホール(地下1階)
9:30~9:45の間に来てください
- ◆もちもの：会員手帳・月刊「うちゅう」・筆記用具
- ◆内 容： 9:45~ 9:50 ようこそジュニア科学クラブへ
9:50~10:30 プラネタリウム(全員)
10:30~11:30 てんじ場たんけん(全員)

・途中からは入れません。ちこくしないように来てください。

ここから2ページはジュニア科学クラブ(小学校5・6年生を対象とした会員制)のページです。